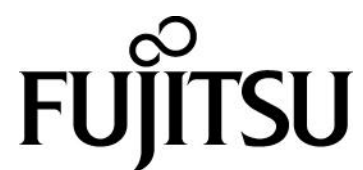


Drive Studio
ユーザーズマニュアル



目次

1. Drive Studio へようこそ	4
2. Drive Studio を使うための準備	6
■ モバイルのデータをカーナビで利用する準備	6
■ パソコンのデータをカーナビで利用する準備	6
3. 写真を閲覧／ダウンロードする	12
■ パソコン／モバイルの写真をカーナビで閲覧する	12
■ 写真の位置情報を使って、目的地を設定する	14
■ パソコンの写真をモバイルにダウンロードする	16
4. 音楽を再生／ダウンロードする	18
■ パソコン／モバイルの音楽をカーナビで再生する	18
■ パソコンの音楽をモバイルにダウンロードする	21
5. Drive Studio の設定	23
■ Drive Studio 設定 Utility (パソコン側)	23
■ リモート起動について	26
6. Q&A 集	27
7. 付録	34
■ ソフトウェアの使用許諾について	34

著作権情報

Copyright FUJITSU LIMITED 2013

本マニュアルの一部または全部について、文書による富士通株式会社の許可を得ない限り、写真複製、録音、検索システムへの保存、または他の言語への翻訳を含む電気的手段、機械的手段、および他のいかなる方法によっても、複製または転用することを禁じます。

予告なく記載事項の一部を変更することがあります。本書の完全性及び正確さを確保するために正当な努力を行いますが、黙示の保証に制限されることなく富士通株式会社はこの書面に関して一切の保証をするものではありません。富士通株式会社は文中の誤記や落脱、本マニュアルの利用に関わるいかなる損害についても責任を負わないものとします。

商標について

Drive Studio 設定 Utility および Drive Studio は、富士通株式会社の製品です。

Android は Google Inc.の登録商標です。

MirrorLink™は、Car Connectivity Consortium の商標または登録商標です。

ECLIPSE は、富士通テン株式会社の商標または登録商標です

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

画面例について

本マニュアルの画面例は、一例です。画面はバージョン、機器によって変更されることがあります。

製品の呼び方

本文中では、Windows 8、Windows 8 Pro を Windows 8 と表記し、Windows 8.1、Windows 8.1 Pro を Windows 8.1 と表記しています。

また、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末を「モバイル」と表記し、パソコン側のアプリを「Drive Studio 設定 Utility」、モバイル側のアプリを「Drive Studio」と表記します。

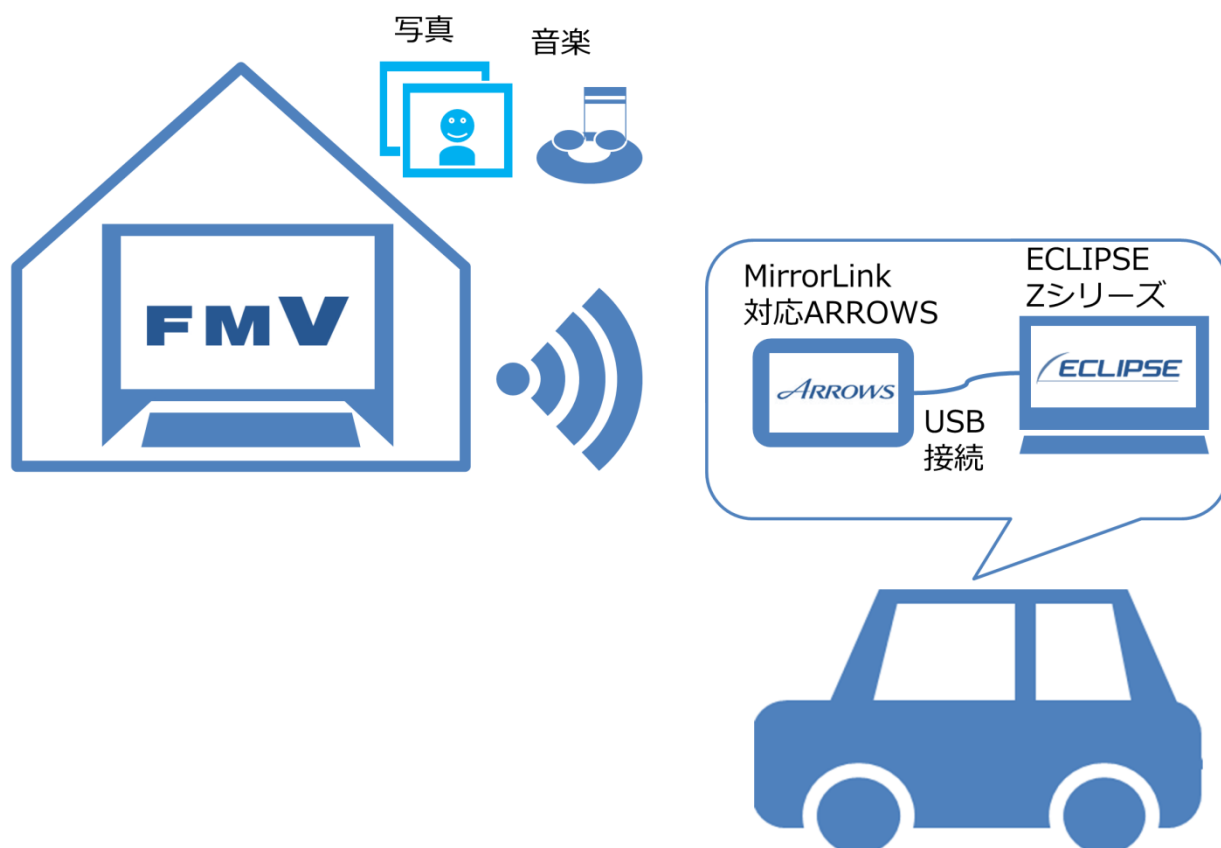
Drive Studio の使い方はインターネット上でも公開しています。

<http://azby.fmworld.net/support/soft/mycloudapps/drivestudio/>

1. Drive Studio へようこそ

Drive Studio は、モバイルやパソコンに保存されている写真をカーナビに表示したり、モバイルやパソコンに保存されている音楽をカーナビで再生したりすることができるアプリです。また、写真に付与された位置情報をカーナビに送信し、写真の撮影場所を目的地に設定することができます。

モバイル側のアプリ「Drive Studio」と、パソコン側のアプリ「Drive Studio 設定 Utility」を利用します。



⚠️ 注意事項

- パソコン側には「Drive Studio 設定 Utility」、モバイル側には「Drive Studio」がインストールされている必要があります。
- セキュリティ対策アプリをお使いの場合、ファイアウォールでブロックされないように設定をしてください。
- 本サービスを利用する場合、パソコン側で「Drive Studio 設定 Utility」を起動して常駐させる必要があります。デスクトップ画面右下の通知領域で常駐の状態を確認してください。
- モバイル側からパソコンの写真を開覧するとき、パソコン側でデータ処理中のファイルは閲覧することができません。
- パソコンの写真の開覧／ダウンロードはインターネットを経由します。機密性の高い情報を含むデータをむやみに開覧／ダウンロードしないよう、充分ご注意ください。
- Drive Studio はインターネットを経由してモバイル側からパソコン側のデータを開覧したりダウンロードしたりする処理を行います。通信状況によっては処理に失敗することがあります。

対象機種

パソコン : Windows 8, または Windows 8.1 搭載の富士通製パソコン FMV

モバイル : MirrorLink™ 機能対応のスマートフォン「ARROWS」、タブレット「ARROWS Tab」

カーナビ : MirrorLink™ 機能対応のカーナビ「ECLIPSE」

詳しくは、サポートページをご確認ください。

<http://azby.fmworld.net/support/soft/mycloudapps/drivestudio/>

2. Drive Studio を使うための準備

ここでは、Drive Studio をご利用になるための準備について説明します。

■モバイルのデータをカーナビで利用する準備

Drive Studio をご利用になるには、対象機種に記載の MirrorLink™ 機能対応機器が必要となります。下記の手順で対応機器を接続してご利用ください。

1. 車のエンジンをかけ、カーナビの電源を入れます。
2. モバイルとカーナビを USB ケーブルで接続します。
3. カーナビ MENU 画面の MirrorLink アイコンが白く点灯したら、MirrorLink アイコンをタップします。Drive Port がインストールされていない場合は、インストールを促す画面が表示されます。画面の指示に従い、インストールしてください。
4. Drive Port が起動したら、Photo アイコン、または Music アイコンをタップします。Drive Studio がインストールされていない場合は、インストールを促す画面が表示されます。画面の指示に従い、インストールしてください。

以上で Drive Studio でモバイルのデータをご利用になるための準備は完了です。

■パソコンのデータをカーナビで利用する準備

次に、Drive Studio でパソコンのデータをご利用になるための準備について説明します。使用するパソコンとモバイルをあらかじめ連携（ペアリング）させておく必要があり、この操作は最初に一度だけ行います。




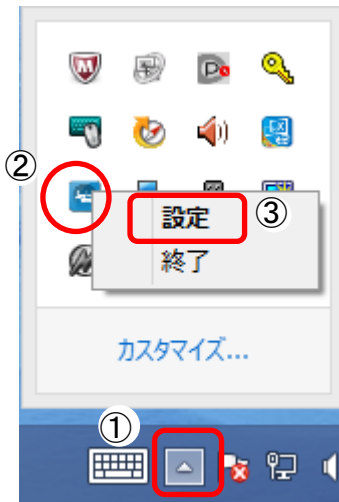
- ペアリングを行う場合は、パソコン側とモバイル側のアプリを同時に起動する必要があります。あらかじめ、「Drive Studio 設定 Utility」をパソコンに、「Drive Studio」をモバイルにインストールしておいてください。「Drive Studio」は、Google Play より「Drive Studio」で検索して、ダウンロードしてください。

1. パソコンをインターネット環境に接続します。

無線 LAN によるインターネット接続をご利用中に家庭内の電波干渉により通信状況が不安定になる場合があります。その場合は、有線 LAN によるインターネット接続を推奨します。

2. パソコン側で「Drive Studio 設定 Utility」の設定画面を開きます。

デスクトップ画面右下の通知領域にある  ①をクリックし、表示された「Drive Studio 設定 Utility」のアイコン②を右クリックして、「設定」③をクリックします。



- デスクトップ画面右下の通知領域にアイコンが表示されない場合は、以下の手順で表示されるアプリ一覧から「Drive Studio 設定」をクリックしてください。

〈Windows 8.1 の場合〉

マウスまたはキーボードを操作してスタート画面の左下端に表示される「↓」をクリックします。

※ タッチ操作の場合は、スタート画面を上側にスワイプします。

〈Windows 8 の場合〉

スタート画面の何も無いところを右クリックしてから、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。

※ タッチ操作の場合は、スタート画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップします。

3. 初回起動時は使用許諾契約書が表示されます。内容を確認し同意したら、「承諾」をクリックします。

4. モバイル側で「Drive Studio」を起動します。

「Drive Studio」アイコンをタップしてアプリを起動します。

アイコンの場所は機器の環境によって異なります。



モバイルとカーナビを USB ケーブルで接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。

初回起動時は使用許諾契約書が表示されます。内容を確認し同意したら、「同意する」をタップします。

5. モバイルをパソコンに登録します。

- ① パソコンがインターネットに接続されていることを確認して、「開始」をクリックします。



- ② モバイルで「ペアリング設定でもっと便利に」の部分をつ押し、表示される「はじめに」画面で「ペアリング開始」をつ押しします。



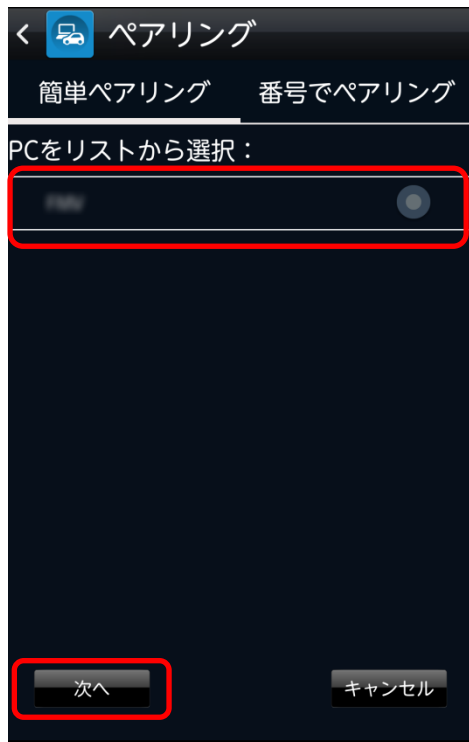
- ペアリングは対象となるパソコンの近くで行ってください。

6. ペアリングの方法を選択し、ペアリングを行います。

[簡単ペアリングの場合]

パソコンとモバイルを同じネットワークに接続できる場合は、モバイルがパソコンを認識すると次のような画面が表示されます。

登録するパソコンを選んで「次へ」をタップします。



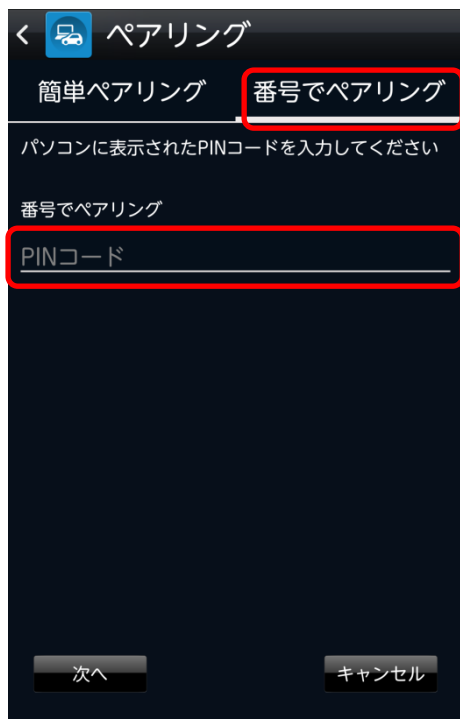
[番号でペアリングの場合]

ご利用のネットワーク環境で、パソコンとモバイルを同じネットワークに接続できない場合や、「簡単ペアリング」でモバイル上のリストにパソコンが表示されない場合は、次の手順でペアリングを行います。

- ① パソコンの「Drive Studio 設定 Utility」で「番号でペアリング」をクリックすると、PIN コードが表示されます。

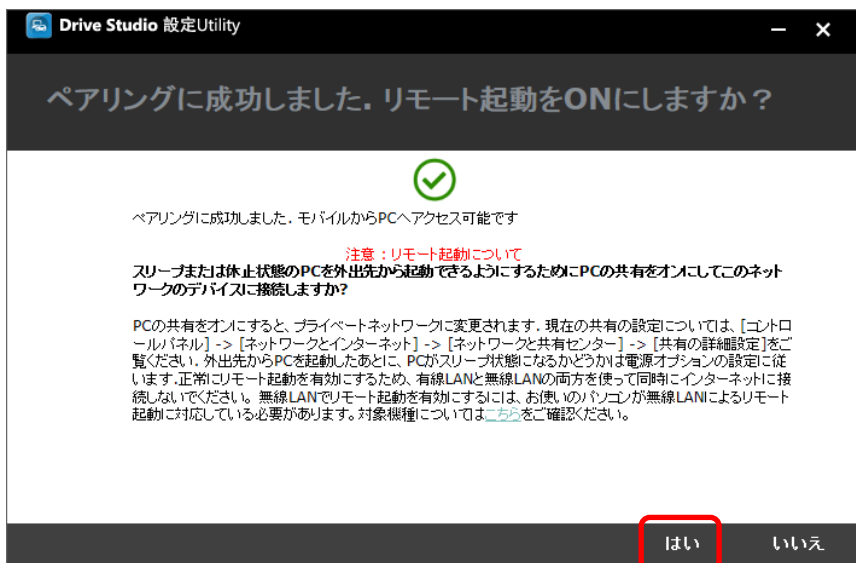


- ② モバイル側で「番号でペアリング」をタップし、PINコードを入力します。



- ③ 「次へ」をタップします。

7. ペアリングが完了すると次のような画面が表示されるので、「はい」をクリックします。



この画面は初回起動時のペアリング後にのみ表示されます。
リモート起動については「Drive Studio の設定」をご覧ください。



- 赤い文字でエラーメッセージが表示されている場合は、リモート起動を有効にできない環境である可能性があります。エラーメッセージに従って、パソコンやルーターの設定を見直してください。

8. モバイル側に次の画面が表示されたら、パソコンのデータを利用する準備は完了です。



- ルーターの種類やパソコンの設定によっては、ペアリングができない場合があります。詳しくは、「Q&A 集」をご覧ください。
- 複数の Windows アカウントが存在する場合、モバイル 1 台につき 1 つのアカウントのみペアリングが可能です。

3. 写真を閲覧／ダウンロードする

「Drive Studio」を使って、カーナビでモバイル、またはパソコンの写真を閲覧／ダウンロードしたり、写真に付与されている位置情報をカーナビに送信し、目的地を設定したりできます。

留意事項

- パソコンの写真を利用する場合は、モバイルが 3G や LTE、または Wi-Fi 経由でインターネットに接続できる環境で操作してください。
- Drive Studio で対応している画像フォーマットは、JPEG (.JPG、.JPEG)、PNG (.PNG) です。これ以外の画像フォーマットでは、閲覧／ダウンロードができません。
- モバイル端末からカーナビへ転送された画面について、モバイル端末の画面と表示写真の解像度や縦横比は必ずしも同一ではありません。

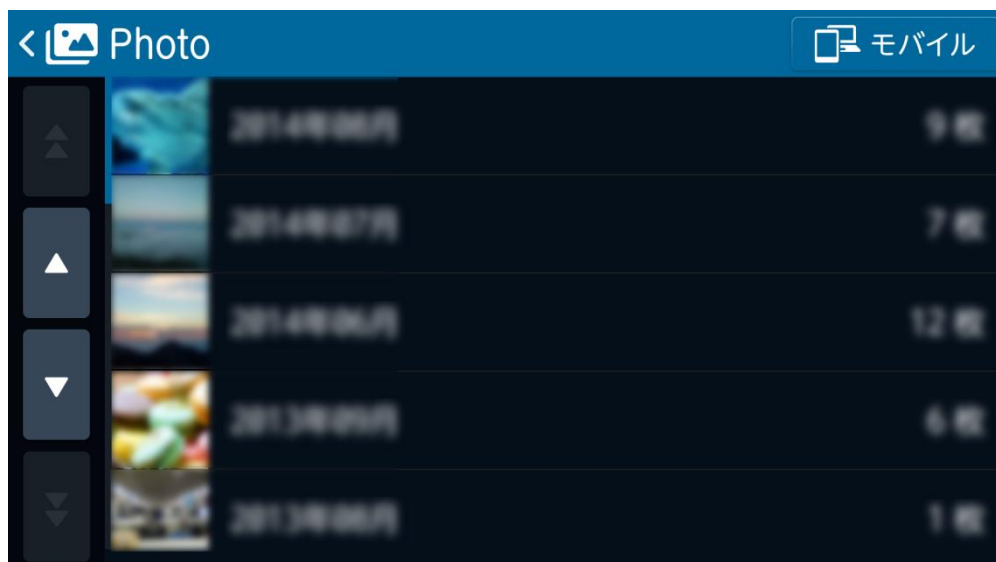
■パソコン／モバイルの写真をカーナビで閲覧する

パソコン／モバイルに保存されている写真を、カーナビで閲覧することができます。



- パソコンに保存されている写真について、「Drive Studio 設定 Utility」で設定されている共有フォルダーに含まれる写真を、モバイル／カーナビで閲覧することができます。

1. 「Drive Studio を使うための準備」に従い、Drive Port を起動し「Photo」をタップします。



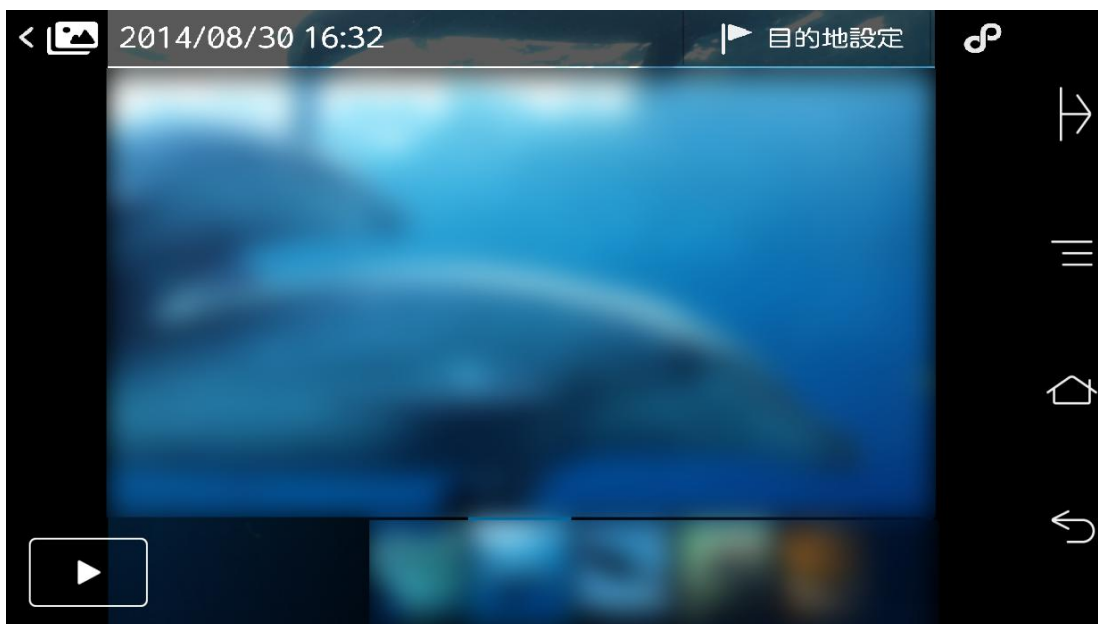
モバイルに保存されている写真が、年月ごとにフォルダー分けされて表示されます。
パソコンに保存されている写真に切り替える場合は、画面右上のデバイス切替ボタンを押してください。

2. フォルダーをタップします。



フォルダーをタップすると写真のサムネイルリストが表示されるので、閲覧したい写真のサムネイルをタップすることで大きく表示することができます。

3. 写真を左右方向にフリックします。



フォルダー内の次の写真、前の写真に切り替えることができます。画面下部のサムネイル選択領域からでも写真を選ぶことができます。

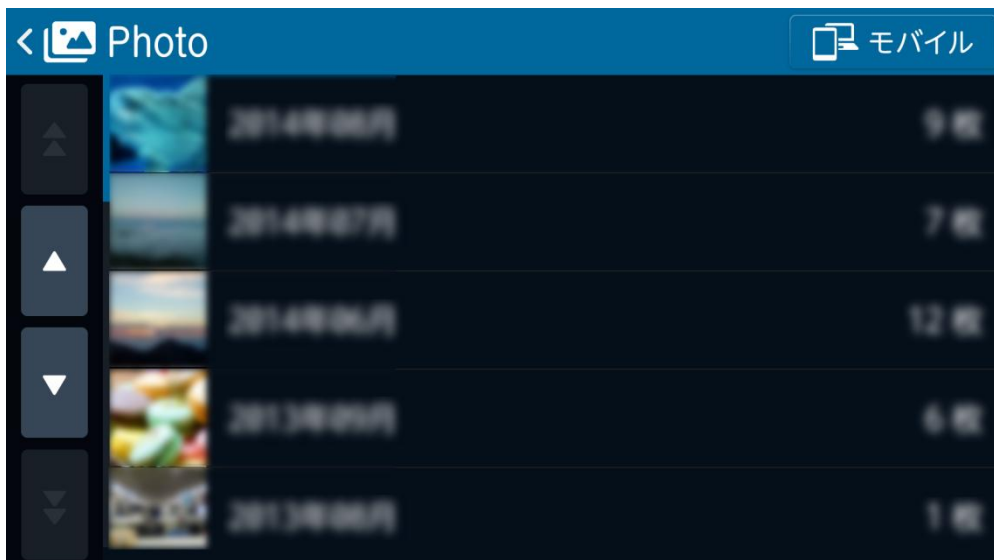


- 左下の再生ボタンをタップすると、スライドショーが開始され、全画面表示で1枚ずつ自動的に写真を切り替えて閲覧できます。スライドショーの再生間隔を変更するには、ナビゲーションバーのメニューボタンから「スライドショー再生間隔」を選択し、お好みの秒数を選択してください。

■写真の位置情報を使って、目的地を設定する

パソコン／モバイルに保存されている写真に位置情報が付与されている場合、写真の位置情報をカーナビに送信することで目的地を設定することができます。

1. 「パソコン／モバイルの写真をカーナビで閲覧する」に従って、パソコン／モバイルの写真リストを表示しフォルダーをタップします。



2. GPS アイコンがついているサムネイルをタップし、写真を表示します。



3. 画面上部の「目的地設定」ボタンをタップします。



4. カーナビの地図画面に切り替わり、目的地が設定されます。
「案内開始」ボタンを押して、設定を完了してください。

■パソコンの写真をモバイルにダウンロードする

パソコンに保存されている写真を、インターネット経由でモバイルにダウンロードすることができます。

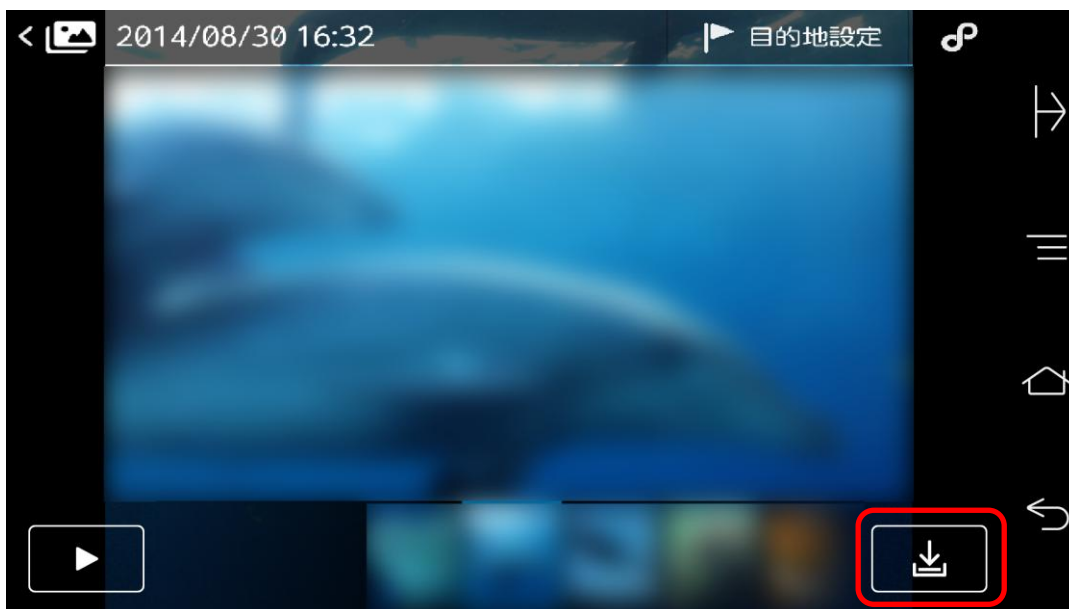


- 「Drive Studio 設定 Utility」で設定されている共有フォルダーに含まれる写真を、モバイルにダウンロードすることができます。

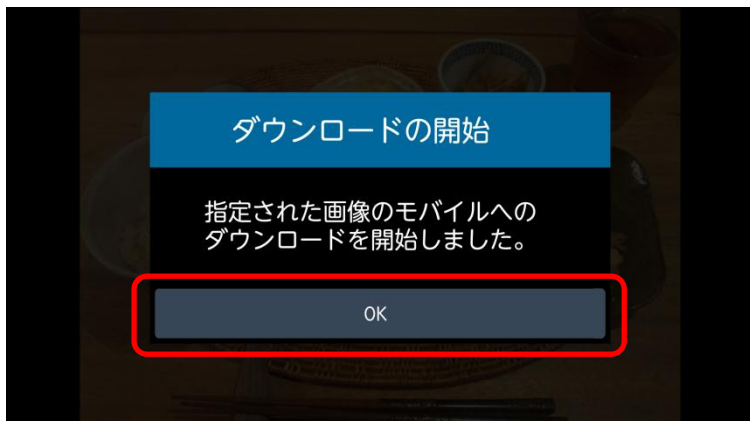
1. 「パソコン／モバイルの写真をカーナビで閲覧する」に従って、パソコンの写真を表示します。



2. 画面右下のダウンロードボタンをタップします。




3. ダウンロード開始画面が表示されるので「OK」をタップします。




4. ダウンロード状況を確認するには、ナビゲーションバーのメニューボタンから「ダウンロードリスト」を選択します。



正常に写真がダウンロードされると、写真の撮影日と容量が表示されます。

ダウンロード中の写真は  [中断アイコン]でダウンロードを中断することができます。

ダウンロードが中断されている場合は  [再開アイコン]が表示されますので、タップすることでダウンロードの再開、またはダウンロードリストからの削除ができます。

4. 音楽を再生／ダウンロードする

「Drive Studio」を使って、カーナビでモバイル、またはパソコンの音楽を再生／ダウンロードすることができます。

注意事項

- Drive Studio で対応している音声フォーマットは、下表を参照してください。対応していないフォーマットでは、ダウンロードや再生ができない場合があります。

データ	対応フォーマット	拡張子
音楽	MP3	.mp3
	LPCM	.wav
	WMA	.wma
	AAC	.m4a

- コンテンツ保護機能により保護された音声ファイルは「Drive Studio」のリストに表示されません。
- 本サービスでは音声データをパソコンから受信しながら、同時にモバイルで再生するストリーミング方式をとっています。
- パソコンが接続されているご自宅のネットワーク環境の通信状況によっては、音声途切れたり、つながりにくくなったりする場合があります。高速な上り回線速度のネットワーク環境を推奨します。
- モバイルの 3G 回線や LTE 回線、または Wi-Fi の通信状況によっては、音声途切れたり、つながりにくくなったりする場合があります。

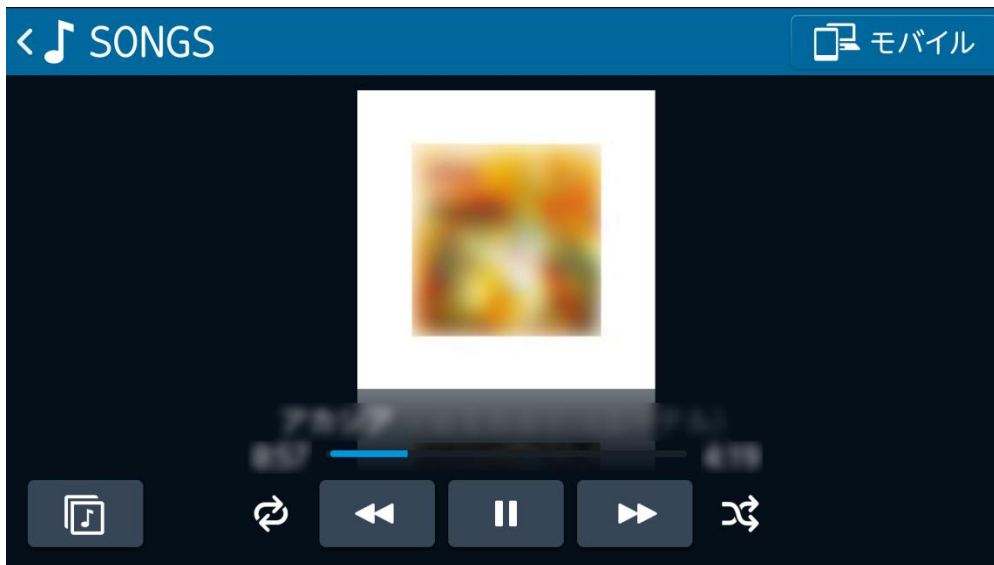
■パソコン／モバイルの音楽をカーナビで再生する

パソコン／モバイルに保存されている音楽を、カーナビで再生することができます。



- パソコンに保存されている音楽について、「Drive Studio 設定 Utility」で設定されている共有フォルダーに含まれる音楽を、カーナビで再生することができます。

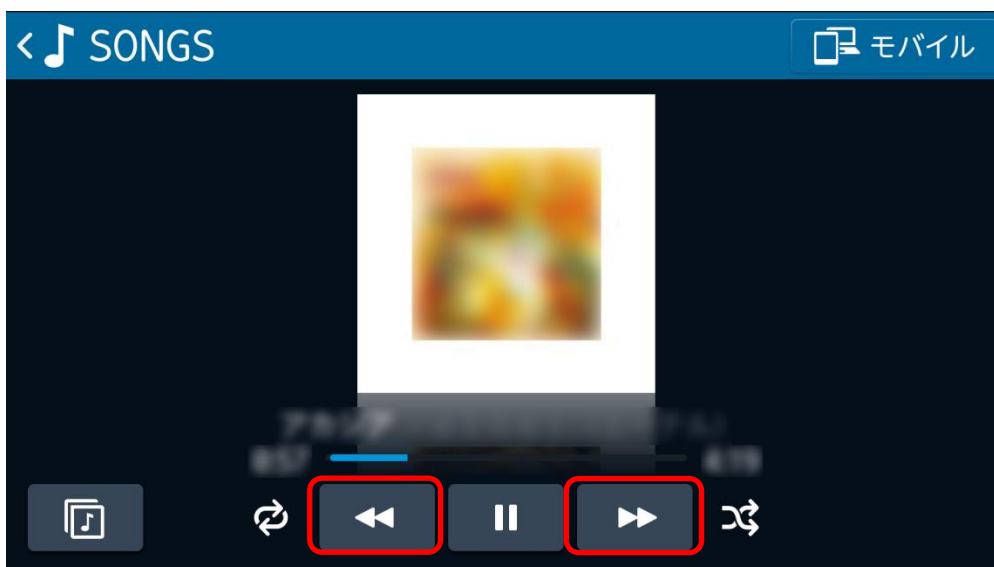
1. 「Drive Studio を使うための準備」に従い、Drive Port を起動し「Music」をタップします。



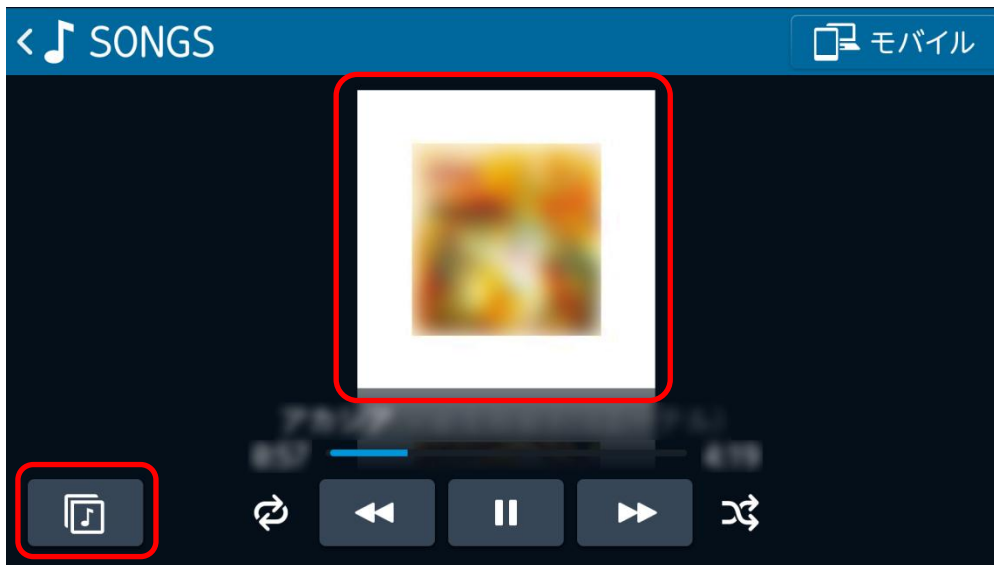
モバイルに保存されている音楽が再生されます。

パソコンに保存されている音楽に切り替える場合は、画面右上のデバイス切替ボタンを押してください。

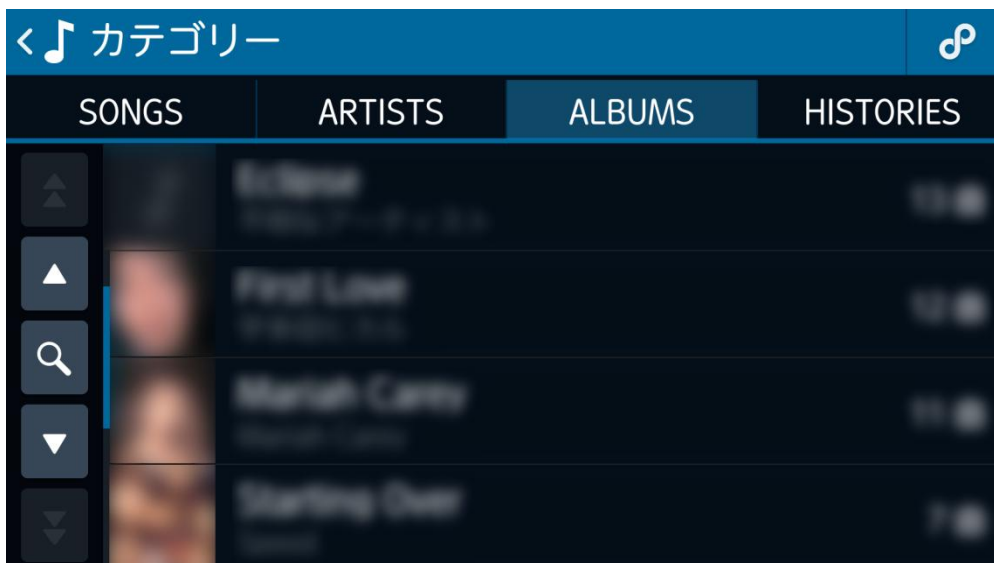
2. 曲を切り替えるには、画面下部中央の「曲戻し」「曲送り」をタップします。



3. 曲のリストを表示するには、画面左下のカテゴリ選択ボタン、または画面中央のアルバムアートをタップします。



4. 各カテゴリ SONGS, ARTISTS, ALBUMS, HISTORIES を選択して、リストを切り替えることができます。



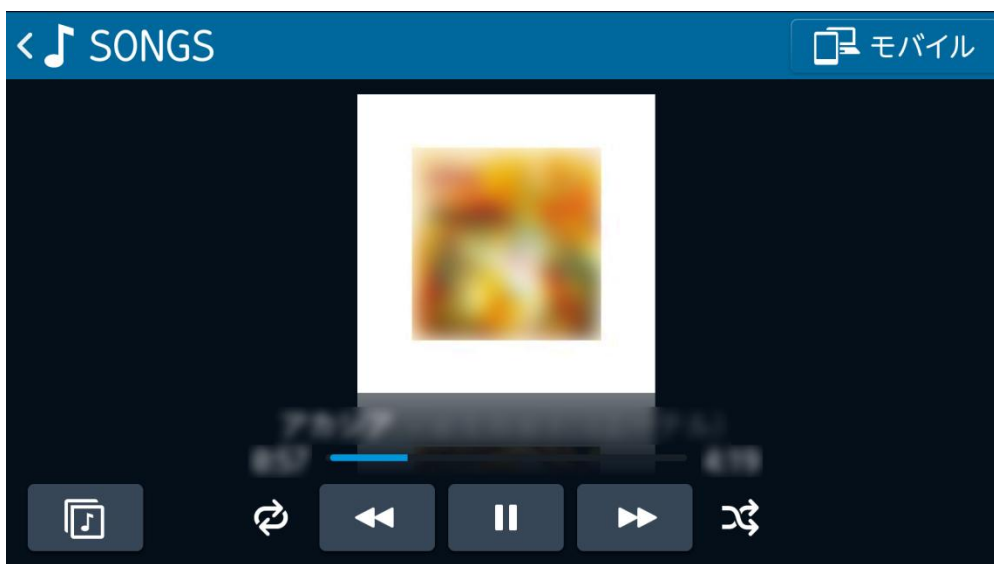
■パソコンの音楽をモバイルにダウンロードする

パソコンに保存されている音楽を、インターネット経由でモバイルにダウンロードすることができます。

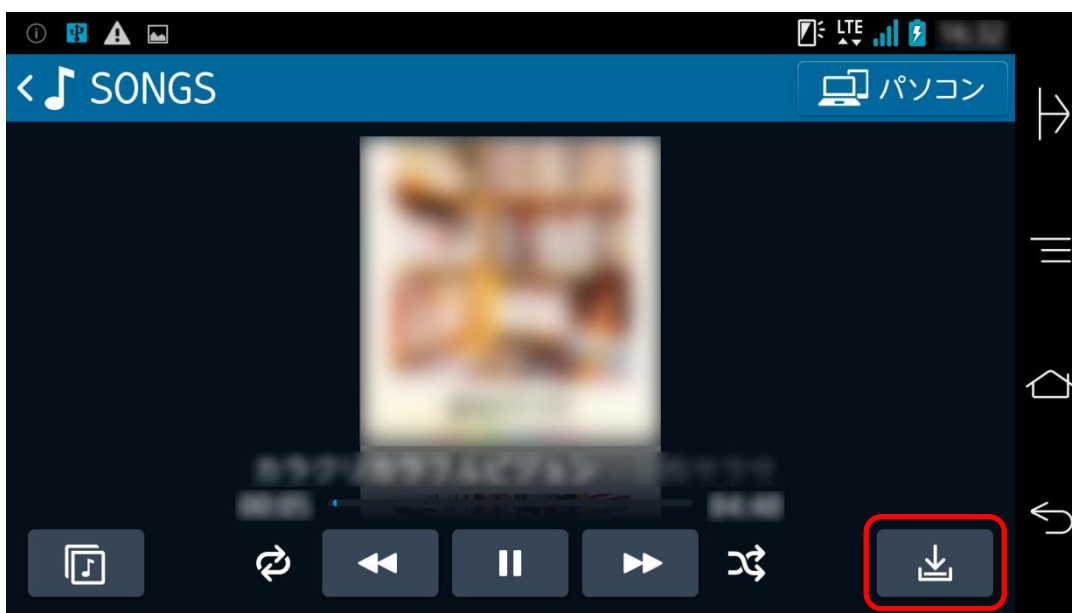


- 「Drive Studio 設定 Utility」で設定されている共有フォルダーに含まれる音楽を、モバイルにダウンロードすることができます。

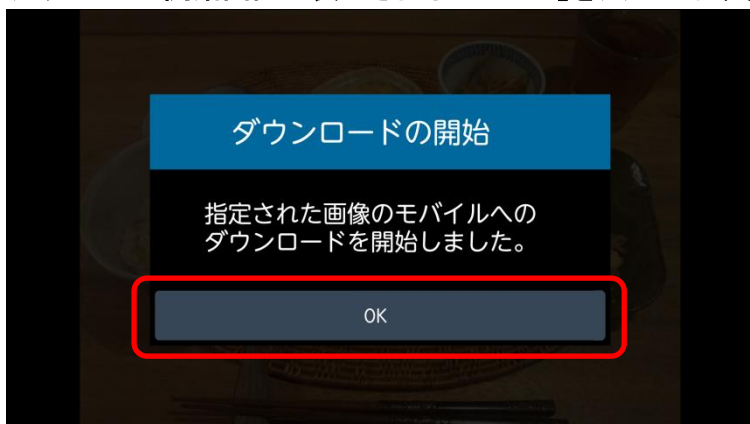
1. 「パソコン／モバイルの音楽をカーナビで再生する」に従って、パソコンの音楽を再生します。



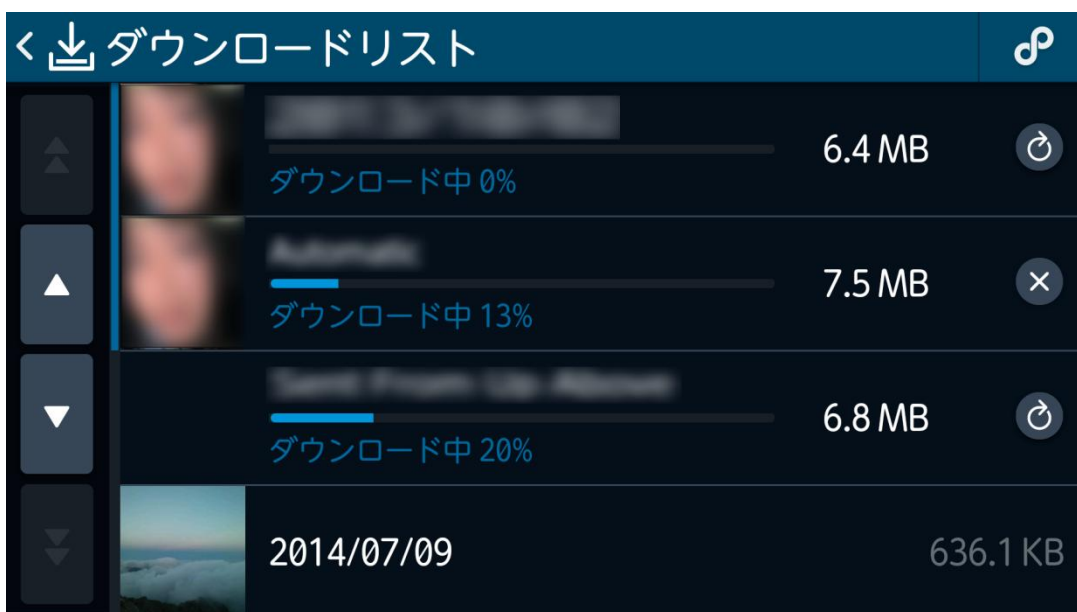
2. 画面右下のダウンロードボタンをタップします。




3. ダウンロード開始画面が表示されるので「OK」をタップします。




4. ダウンロード状況を確認するには、ナビゲーションバーのメニューボタンから「ダウンロードリスト」を選択します



正常に写真がダウンロードされると、音楽の曲名と容量が表示されます。

ダウンロード中の音楽は  [中断アイコン]でダウンロードを中断することができます。

ダウンロードが中断されている場合は  [再開アイコン]が表示されますので、タップすることでダウンロードの再開、またはダウンロードリストからの削除ができます。

5. Drive Studio の設定

「Drive Studio 設定 Utility」の各種設定について説明します。

■Drive Studio 設定 Utility (パソコン側)

[情報]

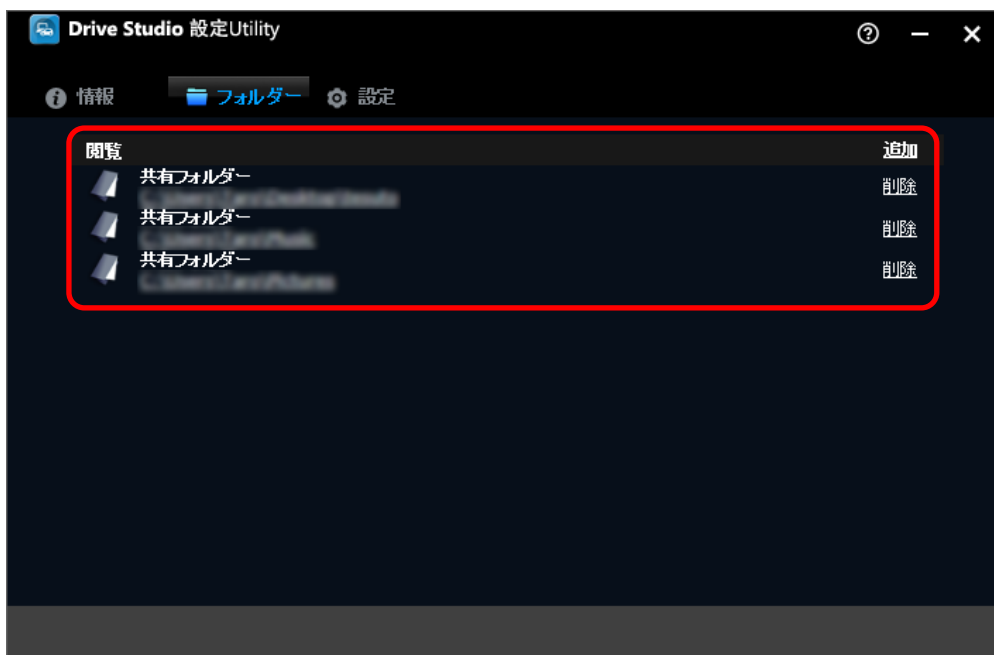
本サービスを利用するうえでの情報を表示します。



- Windows ユーザー名
サインインしているユーザー名を表示します。
- アプリ名右側の数字
バージョン番号を表示します。
- お読みください
ご利用にあたってご確認いただきたい内容を表示します。(初回起動時に表示される内容と同一です)

[フォルダー]

モバイル／カーナビで利用したい写真、音楽が保存されているフォルダーを設定できます。

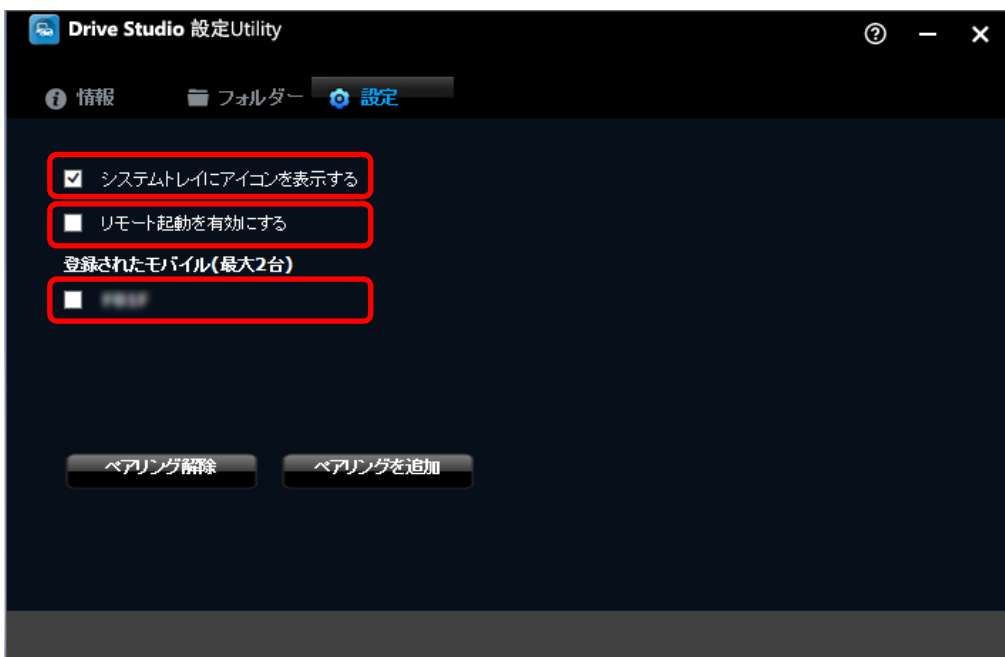


- **閲覧**

モバイル／カーナビで閲覧できるフォルダーを指定します。

[設定]

本サービスを利用するうえでの設定を指定します。



- **システムトレイにアイコンを表示する**

チェックをつけるとシステムトレイにアイコンを表示します。

- **リモート起動を有効にする**

チェックをつけると、パソコンがスリープ状態や休止状態であっても、モバイルからの操作でパソコンを復帰させて、本サービスを利用することができます。

この場合、パソコンが接続されているネットワークの種類が「プライベートネットワーク」に変更されます。シャットダウン状態からのリモート起動に対応した BIOS/有線 LAN ドライバーにアップデートすることで、パソコンをシャットダウン状態からリモート起動できます。

※ 有線 LAN 利用時のみ。一部機種では対応していません。詳しくはサポートページをご確認ください(→P.3)。

- **テストリモート起動**

モバイルからリモート起動が実行されたと仮定し、リモート起動の命令がパソコンに届くかどうかをテストします。



- テストリモート起動はすべてのパソコンおよびすべての環境に対応しているわけではありません。詳しくは、「リモート起動について」(→P.26)をご覧ください。

- **登録されたモバイル**

登録されているモバイルを表示します。

チェックをつけて「ペアリング解除」をクリックすると登録を解除します。

「ペアリングを追加」をクリックするとモバイルの追加を行います。



- ペアリング解除されたモバイル側からは、「Drive Studio」を起動してもパソコンにアクセスできなくなります。ご注意ください。

■リモート起動について



- 宅外からのパソコンのリモート起動は、お客様のインターネット接続環境や回線の状況によって動作しない場合があります。常に正常に起動させられることは保証いたしかねます。あらかじめご了承ください。
- ご利用になる場合は、「Drive Studio 設定 Utility」の「設定」タブにあるリモート起動テストで事前に動作を確認してください。

6. Q&A 集

■Drive Studio 全般

Q	パソコンやモバイル端末を修理すると、「Drive Studio」が動作しないことがあります。	A	パソコンやモバイル端末の修理をすると「ペアリング」のやり直しが必要となる場合があります。その場合にはペアリングを再度おこなってください。
Q	パソコンとモバイル端末のペアリング中に、モバイル端末で「デバイスが見つかりません」、もしくはパソコンで「検索に失敗しました。ペアリング可能なモバイルがありません。」が表示されました。	A	モバイル端末やパソコンの Wi-Fi が準備できていないか、パソコン側のペアリングの開始のクリックがモバイル端末の「ペアリング」のタッチより遅れた場合に表示されます。 以下の設定をご確認のうえ、本マニュアルの【パソコンのデータをカーナビで利用する準備】にしたがって再度ペアリングを行ってください。 ・モバイル端末やパソコンの Wi-Fi が ON になっていること ・無線ルーター経由でペアリングする場合はモバイル端末が無線ルーターに接続できていること
Q	ペアリングが終わったモバイル端末をカーナビに接続し「Drive Studio」を起動してパソコンに接続しようとしたら、モバイル端末で「ペアリング認証エラー」が表示された。	A	「Drive Studio」から、パソコンへ切替直後に、サーバへペアリング情報の確認に行きますが、サーバにてそのペアリング情報がなかった場合や、サーバにペアリング情報が届かなかった場合に表示されます。 再度ペアリングを実施していただくか、回線品質を確認後再度アクセスを試してみてください。
Q	ペアリングを開始した後、「PC のリスト」にパソコンが表示されません。	A	・「Drive Studio 設定 Utility」で「ペアリング」が開始されていることを確認してください。 ・「Drive Studio」を起動しているモバイル端末と、「Drive Studio 設定 Utility」を起動している PC を同じネットワークに接続してください。
Q	プロキシを使ったネットワーク設定を行うと、Drive Studio からペアリングやパソコンの写真閲覧ができません。	A	モバイル端末やパソコンにプロキシを設定したネットワークには対応していません。

Q	パソコンの音楽を再生すると、再生開始に時間がかかったり、一時的に音楽が途切れたり、再生時間が進まなくなったりすることがあります。	A	パソコンのネットワーク環境、スマートフォン、タブレットの 3G/LTE 回線、および Wi-Fi の通信状況によって、音声途切れたり、つながりにくくなったりすることがあります。 次のような可能性が考えられますので、確認してください。 1. パソコンとモバイルの間の通信経路に異常が発生している 2. モバイルの通信契約によって、使用データ量により通信速度制限がかかっている
---	--	---	---

■Drive Studio 設定 Utility

Q	パソコンの@メニューに「Drive Studio 設定 Utility」が表示されません。	A	パソコンに「Drive Studio 設定 Utility」をインストールしてください。
Q	パソコンのスタート画面に「Drive Studio 設定 Utility」タイルが表示されません	A	パソコンに「Drive Studio 設定 Utility」をインストールしてください。
Q	バージョンの確認方法を教えてください。	A	「Drive Studio 設定 Utility」で「情報」をクリックしてください。
Q	ペアリングの設定を行い、モバイル端末で「ペアリングに成功しました」画面が表示されたにもかかわらず、パソコンでは成功の画面にならず、ペアリングを続けているように見えます。	A	一時的にパソコンとモバイル端末で状態が不一致になったと考えられます。 パソコン側はそのまましばらく待って、成功画面にかわることを確認してください。 ペアリングの失敗をお知らせする画面が表示された場合は、インターネット接続が不安定であることが考えられます。一度パソコンを再起動し、「Drive Studio 設定 Utility」の設定タブをひらき、モバイル端末のモデル番号が表示されていることを確認してください。表示されていれば、ペアリングに成功しています。
Q	ペアリング設定が成功し、その後パソコンの電源を落とし再起動したら、「Drive Studio」でパソコンとモバイル端末がつながらなくなりました。	A	パソコンを起動後、「Drive Studio 設定 Utility」がサーバとの接続を確認するのに約 2 分かかります。しばらく時間をおいてから接続を再度お試しください。また、モバイル端末の再起動を行うと改善する場合があります。

Q	カーナビの「Drive Studio」からパソコンへ切替ても、パソコンのデータにアクセスできません。	A	パソコン側に「Drive Studio 設定 Utility」が常駐していない可能性があります。スタート画面から「Drive Studio 設定 Utility」を起動してください。
Q	「番号でペアリング」を行った時に、モバイル端末はペアリング完了するが、まれにパソコン側にペアリング完了画面が表示されず、PINコード表示画面のままになる場合があります。	A	以下の手順を行ってください。 1. PINコードが表示されているパソコン側の画面の右上にある×ボタンをクリックし、一旦PINコード表示画面を閉じます。 ※「登録されたモバイル」の欄にペアリングを実施したモバイル端末が表示されません。 2. モバイル端末で設定タブの「ペアリング」から、ペアリングを解除します。 3. 再度ペアリングを行ってください。
Q	ペアリングを行い、パソコン側で成功の画面になったにもかかわらず、モバイル端末では「ペアリングに成功しました」の画面に変わらず、ペアリングを続けているように見えます。	A	一時的にパソコンとモバイル端末で状態が不一致になったと考えられますが、パソコンで成功を示していればペアリングは成功です。モバイル端末の「戻る」キーで「Drive Studio」アプリを終了させ、モバイル端末のアプリメニューから「Drive Studio」アプリを再度起動します。「モバイル端末と対応車載器と接続してご利用ください」画面の「ペアリング設定でもっと便利に」をタップして移行した画面に「ペアリング解除」のボタンが出てくれば、ペアリング成功です。
Q	ペアリングは成功したが、モバイル端末で「PHOTO」のフォルダ選択画面から「パソコン」をタップするとエラーになって、パソコンの写真を見られません。	A	モバイルルーターなどの一部のルーターでは、Wi-Fi チャンネルと有線 LAN ハブとの相互接続を無効にしている場合があります。ルーターの説明書を確認し、相互接続を有効にしてください。
Q	ペアリングが成功し、その後ルーターの電源を落として再起上げなおしたら「Drive Studio」でパソコンとモバイル端末がつながらなくなりました。	A	ルーター再起動時にルーターに割り当てられた IP アドレスが変更された可能性があります。しばらくしてから接続を再度お試しください。
Q	閲覧フォルダーを追加しようとすると、「このフォルダーは指定できません！」と表示されます。	A	次の場合には、閲覧フォルダーを追加できません。 ・指定したフォルダーがすでに閲覧フォルダーとして登録されている場合 ・リムーバブルディスクを指定した場合 この場合、他のフォルダーをご指定ください。
Q	ネットワークセキュリティソフトに設定は必要ですか。	A	ネットワークセキュリティの設定で「DriveStudio.exe」、「DriveStudioService.exe」からの接続を許可にしてください。

<p>Q</p>	<p>パソコンのネットワークセキュリティソフトで「DriveStudioService.exe」がネットワークに接続を許可するか確認するメッセージが表示されます。</p>	<p>A</p> <p>ネットワークセキュリティの設定で「DriveStudioService.exe」からの接続を許可にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Norton Internet Security をご利用の場合、スマートファイアウォールの設定を以下の通りに変更してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「設定」-「ネットワークの設定」-「スマートファイアウォール」-「拡張設定」の「設定」をクリックします。 2. 「一般ルール」の「設定」をクリックします。 3. 以下の項目のチェックを外して「OK」ボタンをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> ・デフォルト遮断 Windows ファイル共有 ・遮断, 方向: インバウンド コンピュータ: 任意 通信: 特定 プロトコル: TCP と UDP 追跡: ログエントリを作成 <p>設定内容によっては「デフォルト遮断 Windows ファイル共有」の詳細内容が異なる場合があります。</p>
<p>Q</p>	<p>パソコンとスマートフォンのペアリングができません。</p>	<p>A</p> <p>マカフィーマルチアクセスのマカフィーファイアウォール機能を追加インストールしてお使いの場合は、Drive Studio 設定 Utility で、スマートフォンとペアリングができません。その場合には、次の設定を変更してお使いください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タスクトレイの(M)アイコンをダブルクリックし、セキュリティセンターを開きます。 2. 「ウェブとメールの保護」をクリックします。 3. 「ファイアウォール」をクリックします。 4. 「マイネットワーク接続」をクリックします。 5. 追加されたネットワーク(例:192.168.137.0 - 192.168.137.255)をクリックし、「編集ボタン」をクリックします。 6. ネットワークの種類のパルダウンメニューをクリックし、「職場」から「自宅」に変更します。 7. 「保存ボタン」をクリックします。 8. セキュリティセンターの右上の「×」をクリックし、設定を終了します。

<p>Q</p>	<p>リモート起動した後、パソコンの電源が入ったままになります。</p>	<p>A</p> <p>以下の手順でスリープ状態などの省電力状態に移行する設定を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スタート画面の何もないところを右クリックしてから、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。 2. 表示されるアプリ一覧から「コントロールパネル」をクリックします。 3. 「システムとセキュリティ」をクリックします。 4. 「電源オプション」をクリックします。 5. 画面左側に表示される項目の中から、「コンピュータがスリープ状態になる時間を変更」をクリックします。 6. 「プラン設定の編集」が表示されます。「コンピュータをスリープ状態にする」でスリープに移行する時間を設定してください。
<p>Q</p>	<p>パソコンの設定を変えてしまったら、リモート起動できなくなりました。</p>	<p>A</p> <p>「Drive Studio 設定 Utility」の設定タブにて、「リモート起動を有効にする」のチェックを入れなおし、「テストリモート起動」ボタンでテストを実行してください。</p> <p>テストに成功した内容のメッセージが表示されれば、リモート起動が正常に有効になっています。</p> <p>パソコンをリモート起動するには次の条件が必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パソコンとルーター間が有線 LAN で接続されていること(対象機種のみ、無線 LAN でもリモート起動可能です)。 2. パソコンの WakeOnLAN の設定が有効になっていること。 ネットワークアダプター(有線ネットワーク)の「電源の管理」の設定において、「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」、「Magic Packet のみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」が有効であること。 3. パソコンのネットワークの場所の設定が「プライベートネットワーク」になっていること。 4. パソコンの状態が、スリープまたは休止状態、クイックスタート設定状態であること。 5. パソコンがシャットダウン状態の場合は、BIOS 設定のメニューで「LAN によるウェイクアップ」が有効になっていること(対象機種のみ)。 <p>これらの設定がされていないと、リモート起動ができない場合があります。</p>

Q	<p>「リモート起動を有効にする」のチェックをつけると、「3:UPnP 対応ルータでインターネットに接続していないため、お客様のネットワーク環境をテストすることができませんでした。お使いのルータがUPnP 対応であれば、設定を有効にして再度テストを開始してください。」と表示されます。</p>	A	<p>お使いのルータがUPnP に対応していることが確認できない場合に表示されます。ご家庭のネットワークに接続されている場合は、ネットワークの種類をプライベートネットワークに切り替えてください。「チャーム」から「設定」を選択し、ネットワークのアイコンをクリックして表示される接続中のネットワーク名を右クリックし、「共有をオンにしてデバイスに接続します。」を選択することで、プライベートネットワークに切り替わります。また、お使いのルータの設定画面で、UPnP 機能を有効にしてください。</p>
Q	<p>「リモート起動を有効にする」のチェックをつけると、「4:他の機器によりポートが使用されています。現在、お客様のネットワーク環境ではリモート起動機能に必要な設定ができません。」と表示されます。</p>	A	<p>ルータに対して、お使いのパソコンの「Drive Studio 設定 Utility」とは別のアプリによってすでにポートが使用されているため、設定を上書きできません。お使いのパソコンの「Drive Studio 設定 Utility」でリモート起動を有効にするには、既存のポート使用の設定を削除する必要があります。ルータの再起動により、既存のポート使用の設定が削除される場合があります。</p>
Q	<p>モバイル端末にてパソコンの写真フォルダを参照中にサムネイルを選択すると、モバイル端末に「パソコンのデータが取得できません」が表示され、サムネイル画面に戻ります。</p>	A	<p>モバイル端末にてパソコンからの写真を受信しようとしたが、受信できなかった場合、この表示になります。サムネイル受信後にパソコンがスリープした場合やパソコンやモバイル端末のインターネット接続が切れた場合などが考えられます。パソコンの状態やインターネット接続状態を確認してください。</p>
Q	<p>「Drive Studio」でパソコン内にある音楽のアルバムリストを表示したとき、アルバムアートが表示されない場合があります。</p>	A	<p>パソコン内にある音楽アルバム内の音楽ファイルに、アルバムアートの画像が埋め込まれている必要があります。Windows Media Player でアルバムアートを任意のアルバムのそれぞれの曲に追加するには、下記の手順を実施してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アルバムアートとして使用する画像を右クリックし、次に「コピー」をクリックする。 2. アルバムアートがないアルバムアートボックスを右クリックし、次に「アルバム アートの貼り付け」をクリックする。
Q	<p>「Drive Studio」でパソコン内にある写真/音楽に切り替えようとした際に、「パソコンの電源が入っていません。パソコンを起動しますか」のメッセージが表示され、「はい」を選択しましたが、パソコンの画面に切り替わりません。</p>	A	<p>「Drive Studio 設定 Utility」の設定タブにて、「リモート起動を有効にする」のチェックが有効になっていない事が考えられます。チェックを入れなおしてください。</p>

■Drive Studio(Android アプリ)

Q	モバイル端末に「Drive Studio」のアイコンが表示されません。	A	モバイル端末に「Drive Studio」を Google Play よりインストールしてください。
Q	「モバイル端末と対応車載器を接続してご利用ください」画面で車載機と接続すると Photo/Music が利用できますが、音楽を再生しても音が聞こえません。	A	車載機の MirrorLink ボタンを押すことで、MirrorLink モードになり音が出るようになります。

7. 付録

■ソフトウェアの使用許諾について

使用許諾契約書

富士通株式会社(以下弊社といいます)では、本パソコンにインストール、もしくは添付されているソフトウェア(以下本ソフトウェアといいます)をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェア使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本パソコンでのみ使用できます。なお、お客様は本パソコンのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2. バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用(バックアップ)媒体を作成することができます。

3. 本ソフトウェアの別のソフトウェアへの組み込み

使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4. 複製

(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。

本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用(バックアップ)媒体以外には複製は行わないでください。ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。

(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア(本パソコンに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます)を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本パソコンに添付されている媒体を本パソコンとは別に第三者へ譲渡することはできません。

6. 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをとまなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7. 壁紙の使用条件

お客様は、「FUJITSU」ロゴ入りの壁紙を改変、第三者へ配布することはできません。

8. 保証の範囲条件

- (1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
- (2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
- (3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記(1)の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

9. ハイセイフティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

■開封契約書特約条項

本製品をお客様が使用するにあたり適用される「使用許諾契約書」につきましては、第1条に下記の内容を追加、および、第6条を下記の通り変更するものとします。なお、本特約条項で特に変更された条項以外は、「使用許諾契約書」の各条項が、有効に存続するものとします。

1. 本ソフトウェアの使用および著作権

Use of the Commercial Features for any commercial or production purpose requires a separate license from Oracle. “Commercial Features” means those features identified Table 1-1(Commercial Features In Java SE Product Editions) of the Java SE documentation accessible at <http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/documentation/index.html>

6. 改造等

お客様は、本製品について改造、逆アセンブル、逆コンパイルを伴うリバースエンジニアリングを行うことはできません。ただし、本製品のうち、次に特定されたプログラムについては、本製品とともに使用するフリーソフトに適用された GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE により許諾される範囲に限り、改造とリバースエンジニアリングを行えるものとします。

[ファイル名]

jaudiotagger-2.0.3.jar

Portions utilize Jaudiotagger Copyright (C) 2004-2007 JThink

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 3, 29 June 2007

Copyright (C) 2007 Free Software Foundation, Inc. <http://fsf.org/>

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Drive Studio ユーザーズマニュアル

B5FW-0091-02 Z0-00

発行日 2013年10月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

Copyright FUJITSU LIMITED 2013